

子ども意見発表会



6. 当日の様子（報告会）

平成 26 年 3 月 21 日（土）由井市民センターみなみ野分館で、子ども意見発表会の取り組みについての報告会を開催しました。

子ども意見発表会は、「子どもすこやか宣言」の普及啓発事業として実施しています。各児童館を代表する小学 5 年生から高校生の子ども企画委員 39 人と学生リーダー 21 人が、4 月から 1 年かけて取り組みを行ってきました。子ども



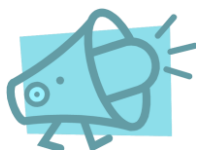
たちが、よりよいまちづくりについて学習し、子どもたちで子ども向けアンケートを作成し、実施してきました。アンケートには、子どもたち 4776 人が回答してくれました。このアンケート結果を、各児童館の子ども企画

委員が中心になり、分析や他の子どもたちとの意見交換を行い、まとめたものを市長と教育長に報告しました。

子ども企画委員は自らの言葉で意見を述べて、この 1 年間の活動を集約した発表となりました。市長と教育長をはじめ地域の方々も真剣に耳を傾けていました。



子ども企画委員を代表して委員長、副委員長を含む高校生・中学生が報告しました。また、各児童館で子ども企画委員がまとめた「意見発表パネル」10 枚を会場内に展示して、多くの参加者に見ていただきました。



子ども意見発表会



各児童館の「意見発表パネル」

浅川児童館



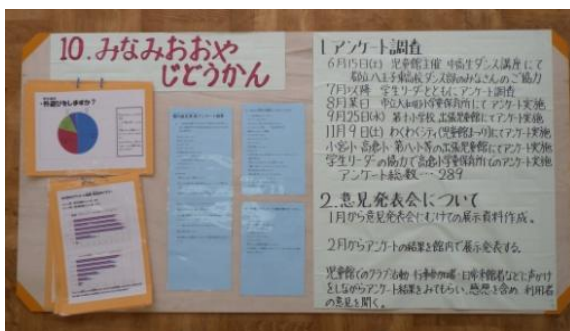
中郷児童館



中野児童館

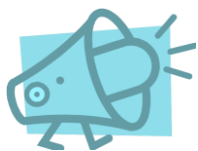


南大谷児童館



北野児童館





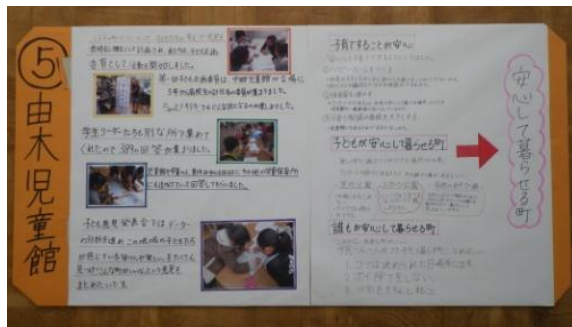
子ども意見発表会



館ヶ丘児童館



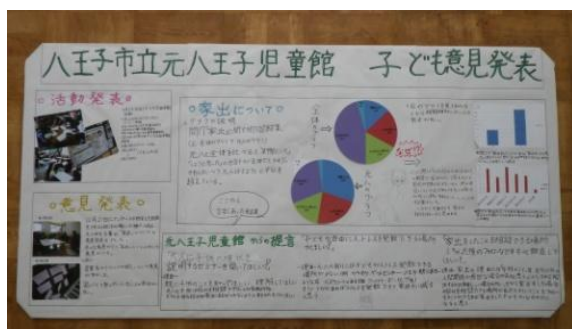
由木児童館



松が谷児童館

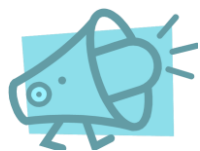


元八王子児童館



川口児童館





子ども意見発表会



7. 当日の様子（子どもランド）

午前中は報告会を行い、午後からは「子どもランド」を実施しました。

子どもたちは参加カード（プレイカード）を片手に、会場内で各児童館が用意した創作ゲームにチャレンジしました。

創作ゲームのお店は、工夫を凝らし、幼児でも楽しめるゲームも多数用意しました。各部屋合わせて20種類の創作ゲームがあり、子どもたちは興味のあるゲームを選んでチャレンジをしていました。また、工作コーナーではプラバン工作を行いました。子どもたちに人気の工作で、みんな一生懸命に取り組んでいま



パネルの説明の様子

した。

チャレンジを終えた子どもたちは、帰りに参加賞の景品を受け取り、喜びながら会場を後にしていました。子どもランドは、保護者を含め200人近くの参加があり、会場内には子どもたちの歓声が響き、にぎやかな1日となりました。

子どもランドは、スタッフとして住民協議会をはじめ、



工作コーナー

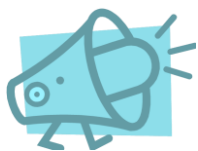
民生・児童委員や保護司の皆さんに協力をいただき、実施することができました。

子どもランドの目的は、地域の子どもたちに楽しく遊んでもらうことと、子ども企画委員が子どもランドの参加者に、自分たちの意見を伝えることでした。

各児童館で、子ども企画委員が検討してきた意見を掲示した「意見発表パネル」を作成しました。子ども企画委



幼児も楽しめる児童館創作ゲーム



子ども意見発表会



員が一生懸命に作り上げた児童館 10 館、計 10 枚の子ども意見パネルを会場内各所に展示し、子ども企画委員が各パネル毎に参加者に説明を行いました。パネル 1 枚ではありますが、情報量は多いため、保護者の方には時間をかけて詳しく、小学生にはその学年に応じた説明をと、子ども企画委員は説明に工夫を凝らしていました。子ども企画委員も慣れてくると、説明を熱心に聞いている子どもたちに意見を求めたり、質問に答えたりと、参加者と積極的にコミュニケーションを図る場面も見られました。自分の意見を他人に分かりやすく伝えることの難しさも知ることができ、とても貴重な体験の場となったようです。

また、この意見パネルは、ラリー形式にして、参加した子どもたちは、全てのパネルの説明を受けると新たなゲームのプレイ券を手に入れることができる仕組みにしました。10 枚の意見パネルの説明を受け、追加のプレイ券をもらった子どもたちは、さらに多くの創作ゲームにチャレンジすることができ、大変喜んでいました。

この子どもランドの活動を通じて、子ども企画委員もたくさんの子どもたちや地域の大人たちと交流を図ることができました。

子どもランド プレイカード

氏名 _____

ゲームプレイ券

「ゲームプレイ券」7まいぶんがあります。子どもランドのお店で遊べます。

プレイ券 1 まいぶん	プレイ券 2 まいぶん	プレイ券 3 まいぶん	プレイ券 4 まいぶん	プレイ券 5 まいぶん	プレイ券 6 まいぶん	プレイ券 7 まいぶん
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

プレイ券はひとり
1まいぶんまでです。
つくったらチェック！
（プレイ券もプレイ
券がひつきます）

子ども意見発表ラリー

10ヶ所の意見発表パネルをみてスタンプが10コになったら、ゲームプレイ券がさらにつかえるよ！

① なかの じどうかん	② もとはあるうに じどうかん	③ たてがあか じどうかん	④ きたの じどうかん	⑤ ゆき じどうかん	⑥ まつがや じどうかん	⑦ かわぐち じどうかん	⑧ あさかわ じどうかん	⑨ なかごう じどうかん	⑩ みちみち じどうかん
-------------------	-----------------------	---------------------	-------------------	------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

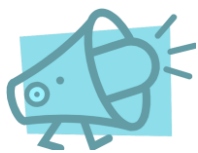
ゲームで、
ポイントを、
あつめよう！..
うらさ、
みてね！..

スタンプをぜんぶあつめたら
あと5まいぶんあそべるよ！

プレイ券 8 まいぶん	プレイ券 9 まいぶん	プレイ券 10 まいぶん	プレイ券 11 まいぶん	プレイ券 12 まいぶん
-------------------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------------

子どもランドプレイカード

35



8. 子どもたちの意見を市の計画へ

子ども意見発表会後、子ども・子育て支援審議会長と子どもたちが懇談会を行いました。会長は、「とてもいい発表でしたので、皆さんから聞いた意見を大切にしていきたいと思います。子ども育成計画（仮称）は、八王子市の行政の方、市民の方、そしてなによりも皆さんの意見を取り入れながら作っていきたいと思っています。また皆さんの意見を聞けるような機会をつくっていききたいと思っています。」と子どもたちに伝えました。

1. 高校生の声

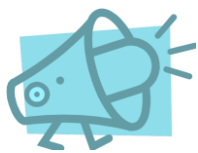
- 地域清掃をもっと増やして欲しい。地域清掃を何日にやっている、ということ強調して欲しい。
- 地域清掃をすることでごみが減ることはもちろん、その姿を見せることで見ている子どもも大人もごみを捨てることをやめようとしてくれるので、周りの意識を変えろということ重視したい。
- 教育相談を市のいたるところに分散して欲しい。市の施設の一角という形でいいので、学校外にも教育相談を広く身近な場所に作って欲しい。

2. 中学生の声

- 自然のイベントを増やして欲しい。
- 家出をした後のフォローを考えて欲しい。
- お年寄りとか小さい子には電車で席を譲ることでもいいまちになるんじゃないかと思う。
- 例えば、1階に小説だけを集めたフロア、2階にいろんな漫画を集めたフロア、3階にボードゲームなどができるフリースペースなどがある図書館が欲しい。
- こういう機会をもっと多く増やしてボランティア活動を自分で積極的にやっていこうと思った。

3. 小学生の声

- 学校近くの道路が高速道路になる工事をしている、学校のフェンスの外に小さいたぬきがいた。かわいそうだから保護してくれればと思った。
- 今回こういう活動をしてみて、安心な街をつくりたいと思ったので、不審者は絶対になくなるようにした方がいいと思った。
- 街灯を増やして欲しい。
- 低学年にアンケート調査を行う時に、難しい言葉で書いてあることを簡単な言葉で言い表すことが大変だった。



9. 子どもたちの提案

4. 本間 紗希（中学3年生）

私が調べたかったのは、「悩みを相談できる人はいますか？」の項目です。相談できる人の違いで、悩みの違いがあるのだろうかと考えました。例えば、父母に相談できる人の中で、どんな悩みがあるかと調べたところ、悩みがない人が40%、自分のことが26%、友だちのことが16%、学校が11%、家族7%などの答えが出ました。

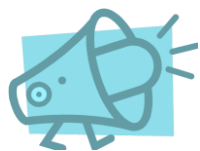
一番知りたかった、悩みを相談できる人の中で、「誰もいない」と答えた人について、どんな悩みがあるのか調べたところ、悩みがないと答えた人が52%もいました。自分のことや家族のことなど合わせて半数近くの人に悩みがあることが分かり、だれも相談する人がいないという「辛い思いをしている人」が少しでも減るように、何か対策を考える必要があると思いました。

私は今まで地域のことについて、知らなかったことがたくさんありました。子ども企画委員になって、自分が住んでいる地域について知ることの大切さを学びました。これからも地域のいろいろな活動に、積極的に参加していきたいと思います。皆さんのご協力ありがとうございました。

5. 工藤 壮一郎（高校1年生）

私は「ほっとできる場所はどこですか？」の質問に興味を持ちました。この質問に対して「相談できる友だちがいる」と答えた人と、「相談できる友だちがいない」と答えた人で比べてみました。「自分の家がほっとできる」と回答した人のうち、「相談できる友だちがいる人」は80%に対して、「相談できる友だちがいない人」は59%となっています。そこから考えられることは、友だちに相談しにくい人は、家族にも相談しにくくて「家」がほっとできる場所にならないのではないかと思います。

もう一つ興味を持った質問は「いじめをしたことがあるか？」と「いじめられたことがあるか？」です。この質問は中高生だけにしています。「いじめをしたことがある」と答えた人が5人に1人、「いじめをされたことがある。」と答えた人が4人に1人の割合になっていました。いじめを受けることにより、学校や友だち同士の中に居場所がなくなり、不登校などになる可能性があります。学校では先生が、地域では大人たちが、子どもたちをしっかりと見て、しっかりと話を聞いて欲しいと私は思います。この問題は非常に難しいことなので、すぐに問題解決とはいかないと思いますが、「先生」や「大人」は「生徒」に思いやりを持ち、「生徒」は「生徒」に思いやりを持って接することで、「いじめ」は無くなっていくことだと思います。



6. 濱田 翔太（高校1年生）

私は2つの質問に興味を持ちました。まず「健康のために気をつけていること」についてです。中高生になると食べ物や睡眠、運動に気をつける人が小学生よりも増えているのに対し、手洗い・うがいに気をつける人が減ってしまうようです。私は、手洗い・うがいが健康への簡単な近道だと思うので、しっかりやって欲しいと思います。

それと、「住んでいる所は好きか？」という質問についてです。小学生の方が「好き」という意見が多く、中高生になると「好き」という意見が減り、「まあまあ好き」という意見が増えるようです。ですから、自分のまちの好きな点や改善して欲しい点などを挙げてもらって、それをもとに、大人の皆さん方と一緒に改善していけたらいいと思います。そうすることで皆が自信を持って自分のまちが好きだと言えるようになると思います。

7. 毛利 太一（高校1年生）

私が注目したのは「自分のまちをきれいにするために何が必要か？」という質問です。これは中高生のための自由記述の回答です。その回答の中のキーワードを私たちが数えて集計しました。回答の中で一番多かったものは、「ポイ捨てをしない」で、310人でした。これは「ポイ捨てはダメ」なども含め「ポイ捨て」をキーワードに数えた結果です。次に「ごみ拾いをする」が185人、「地域清掃を増やす」が151人などの意見がありました。

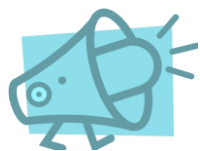
私は今年2回地域清掃に参加しました。この回答と同じように私も地域清掃をもっと増やして、大人も子どもも一緒に参加すべきだと思います。地域清掃をすることで、ごみが減ることはもちろん、その姿を見せることで、見ている大人も子どももごみを捨てることをやめようとしてくれると思います。

8. 尾形 菜々子（高校1年生）

私は、「あなたの理想のまちは何？」という質問に注目しました。中高生のための自由記述で、その回答は1,435あり「ごみがない」と「きれいなまち」は「ごみがなくきれいなまち」とまとめました。その回答は26.6%となりました。危険なことが起こるために、公園などにごみ箱の設置ができない今、ポイ捨てが多くみられる地域もあるからだと思います。

2番目に多かった回答は、「安全で安心なまち」で17.9%でした。「安全」と「安心」をまとめて「安全で安心なまち」としました。私は安全で安心して暮らせるまちが一番理想だと思っています。そのための取り組みを今以上にもっとして欲しいと思います。少数派意見になりますが、バリアフリーがあり、誰でも住みやすいまち、というのもありました。少子高齢化が進んでいる今、福祉に力を入れることは重要なことだと思います。

中高生のみんなは以上のまちを望んでいます。これを叶えるために、市の方や大人の方に考えて行動して欲しいと思います。



子ども意見発表会



10.関係機関・団体との連携・協力について

「八王子市子どもすこやか宣言」の普及・啓発や地域で子どもを育む意識の醸成を図ることを目的に、児童館を中心とした子ども家庭部と地域住民や関係機関・団体が連携・協力して子ども意見発表会に取り組みました。

3月21日「報告会&子どもランド」

共催：由井西部地域住民協議会

協力：学校法人片柳学園、みなみ野シティ連絡協議会、
八王子地区保護司会、第16地区民生・児童委員、
八王子市青少年対策地区委員会、八王子市青少年育成指導員会

※その他に、各児童館でのアンケート調査等の活動にも、地域や関係機関・団体の皆様にご協力をいただきました。

～「報告会&子どもランド」について、子ども家庭部各課担当者の感想～

1年間、活動に携わった子どもたち。児童館の職員が寄り添ってきたことで、自信が生まれ、他者の意見も聞けて、自分の意見もまとめられるように。そんな子どもたちの成長と、子どもの可能性を信じている大人の努力のプロセスに思いをはせた一日でした。未来の担い手となる次世代が「このまちで育った自分が好き」「このまちに住み続けたい」と思う、未来を見据えたまちづくりに、一歩ずつ近づいています。

(子どものしあわせ課：川上)

「子どもランド」のスタッフとして参加しました。ゲームはすべて手作り。どれも楽しそうなものばかり。私は「電車カーリング」を担当しました。電車を動かして、ホームにピタリと停まるとポイントが倍になります。うまくいくと「やったー」っとニコニコ顔になり、こちらもうれしくなりました。また、各児童館が作成したパネルの説明を真剣に聞いている子どもたちの姿も印象的でした。

(子育て支援課：三澤)

「子どもが考えるまちづくり」をテーマに、次代を担う子どもたちから、八王子のまちづくりについて、様々な意見が寄せられました。子どもたちの意見を一つでも多く実現させるため、私たち大人は、責任ある行動をとらなければならないと痛感しました。また、今後この活動が定着し、さらに多くの子どもたちが参画することを願っています。(みなみ野保育園：佐藤)

子どもたちが笑顔で「子どもランド」にやってきました。子どもたちは熱心に意見発表のパネルを見て、子ども企画委員の説明に耳を傾けていました。こうした活動を通して、自分たちの育った地域に愛着が持てるように、地域と連携して、子どもたちの活動の場を拡充することが行政の役割だと改めて感じさせられました。

(子ども家庭支援センター：太田)



子ども意見発表会



11. 子ども企画委員名簿

1. 高校生

工藤 壮一郎	(北野児童館)
濱田 翔太	(北野児童館)
尾形 菜々子	(北野児童館)
毛利 太一	(北野児童館)
山中 美幸	(中野児童館)



2. 中学生

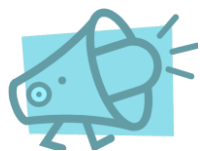
本間 彩希	(川口児童館)
下島 由美	(川口児童館)
小濱 裕子	(元八王子児童館)
遠藤 秋仁	(中野児童館)
澤田 拓海	(中野児童館)
家入 輝人	(浅川児童館)
山之内 紀華	(浅川児童館)
西田 あかね	(浅川児童館)
神山 周作	(中郷児童館)
山本 創太	(中郷児童館)



3. 小学生

登坂 柊斗	(川口児童館)
和田 夏葵	(館ヶ丘児童館)
小野寺 直美	(館ヶ丘児童館)
五味 あゆな	(由木児童館)
島田 麻衣子	(由木児童館)
小澤 俊貴	(中郷児童館)
和智 千夏	(中郷児童館)
鈴木 愛菜	(中郷児童館)
佐藤 佑果	(松が谷児童館)
菊地 紗稀	(松が谷児童館)
高瀬 美羽	(松が谷児童館)





子ども意見発表会



平成 25 年度 子ども意見発表会

テーマ：子どもたちが考えるまちづくり

発 行 八王子市子ども家庭部

平成 27 年 1 月

住 所 〒192-8501

東京都八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号

電 話 042-620-7435

F A X 042-627-7776